

SONY®

ICレコーダー 取扱説明書



インターネット上でヘルプガイド(Web
取扱説明書)を閲覧できます(パソコン・
スマートフォン用)。

ICレコーダーの詳しい使いかたや困っ
たときの対処方法を説明しています。
<http://rd1.sony.net/help/icd/t80/ja/>



ICD-TX800



警告

安全のために

(99 ~ 104ページも合わせてお読みください。)

お買い上げいただきありがとうございます。

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この「取扱説明書」と「ヘルプガイド」(パソコン等で見える電子マニュアル)には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。

よくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

- 安全のための注意事項を守る
- 故障したら使わない
- 万一異常が起きたら、お買い上げ店またはソニーサービス窓口修理を依頼する

警告表示の意味

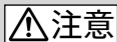
この取扱説明書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなど人身事故が生じます。



この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。



この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



火災



感電

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



ぬれ手禁止



接触禁止

マニュアルについて



紙で見る

取扱説明書(本書)

ICレコーダーの基本操作(録音・再生・削除)や上手に録音、再生するための情報、困ったときの解決方法などを記載しています。

REC Remote(レックリモート)を使う(別冊)

スマートフォン用アプリ「REC Remote」のインストール方法やできること、基本的な操作方法を記載しています。

Sound Organizer 2

(サウンドオーガナイザー 2)を使う(別冊)

パソコンにインストールできるソフトウェア「Sound Organizer 2」のインストール方法やできること、基本的な操作方法などを記載しています。



パソコン
スマートフォン
タブレットで
見る

ヘルプガイド(Web取扱説明書)

ICレコーダーの楽しみかたや機能の詳細説明、困ったときの対処方法などをパソコンで調べることができます。

また、外出先などでスマートフォンやタブレット端末で調べることもできます。

閲覧は無料ですが、通信料は通信契約に依存します。

ICレコーダー サポート・お問い合わせページ (88 ページ)

トラブルの解決方法や接続機器の互換性情報、最新情報を掲載しています。

目次

マニュアルについて 4

準備する.....6

準備1 箱の中身を確認する..... 6

準備2 各部のなまえを確認する... 7

準備3 本体を充電する.....10

準備4 本体の電源を入れる.....12

準備5 初期設定をする.....13

リモコンを使う 18

ホールドを解除する 18

リモコンの電源を入れる 19

リモコンの電源を切る 19

リモコンのボタンについて..... 20

電池を交換する.....21

リセットする..... 22

本体にリモコンを登録する 23

メニューの見かた26

ホームメニューで使いたい機能

を選ぶ 26

オプションメニューで設定する... 28

録音する.....32

録音した音声ファイルの保存場

所の変更..... 35

上手に録音するコツーノイズの

原因と対策 36

その他の方法で録音する 43

再生する.....46

ICレコーダーで録音したファイル

を再生する..... 46

ICレコーダーに転送した音楽ファ

イルを再生する 48

フォルダとファイルについて .. 50

その他の方法で再生する 54

スマートフォンで ICレコーダーを操作する (REC Remote).....60

編集する.....64

ファイルを削除する 64

ファイルを保護する 66

トラックマークを使う 68

ファイルを分割する 71

フォルダ内のファイルを整理する

(ファイル移動/ファイルコピー)... 73

各種設定を変更する..... 74

パソコンを活用する 78

必要なシステム構成..... 79

困ったときは80

症状から調べる.....81

サポートページ/
ヘルプガイドについて 88

保証書とアフターサービス..... 89

その他.....90

主な仕様.....90

使用上のご注意..... 95

著作権と商標について.....105

ライセンスについて106

索引.....108

お問い合わせ窓口のご案内.... 110

準備する

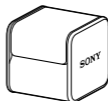
準備1 箱の中身を確認する

はじめに、以下の同梱物がそろっているかを確認してください。

- 本体 (1)
- ステレオヘッドホン (1)
- リモコン* (1)
- 専用ヘッドホン接続ケーブル (1)



- USBケーブル (1)
- キャリングケース (1)



パソコンに接続する場合は、必ず付属のUSBケーブルをお使いください。

- Sound Organizer 2 (サウンドオーガナイザー 2) を使う (1)
- REC Remote (レックリモート) を使う (1)
- 保証書 (1)
- 「製品登録」のおすすめ (1)

* お買い上げの状態では、ボタン型リチウム電池が取り付けられています。

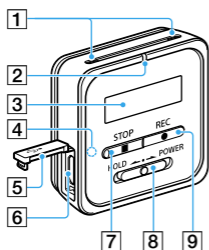
ICレコーダーの本体メモリーには、ソフトウェアSound Organizer 2が保存されています。Sound Organizer (Ver1.6) をお使いの方も、必ずSound Organizer 2をインストールしてお使いください。Sound Organizer 2のインストールについては、「Sound Organizer 2を使う」(別冊)をご覧ください。

この取扱説明書で説明している以外の変更や改造を行った場合、ICレコーダーを使用できなくなることがありますので、ご注意ください。

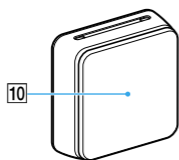
準備2 各部のなまえを確認する

- ・ 本機には、内蔵スピーカーが搭載されておりません。
- ・ 本体では録音、停止のみ操作することができます。それ以外の操作は、リモコンで行います。

本体



- 1 内蔵マイク (L / R)
- 2 動作表示ランプ
- 3 表示窓
- 4 Bluetoothランプ *¹
- 5 USB蓋
- 6 USB端子 / ヘッドホン出力端子 (USB蓋の中にあります。)
- 7 ■STOP (停止) ボタン
- 8 HOLD・POWER (ホールド・電源) スイッチ
- 9 ●REC (録音) ボタン
- 10 クリップ *²

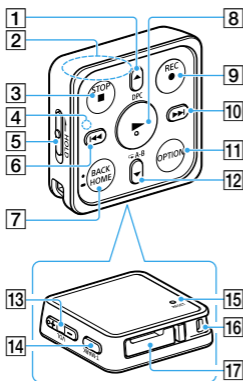


*¹ ランプの色や状態で、Bluetooth機能のオン/オフやペアリング (機器登録) の状態を示します。

*² ポケットなどに挟んで取り付けることができます。



リモコン



- 1 ▲/DPC(速度調節) ボタン
- 2 内蔵アンテナ *1
- 3 ■STOP(停止) ボタン
- 4 動作表示ランプ
- 5 HOLD(ホールド)スイッチ
- 6 ◀◀(早戻し/選択) ボタン
- 7 ●BACK/ ●HOME(戻る/ホーム(長押し)) ボタン *2
- 8 ▶(再生/決定) ボタン *3
- 9 ●REC(録音) ボタン
- 10 ▶▶(早送り/選択) ボタン
- 11 OPTION(オプション) ボタン
- 12 ▼/↶(リピート) A-Bボタン
- 13 VOL(音量) -/+ボタン *3
- 14 T-MARK(トラックマーク) ボタン
- 15 RESET(リセット) ボタン *4
- 16 ストラップ取り付け部 (ストラップは付属していません。)
- 17 電池トレイ *5

*1 リモコンを使用するときには手などで覆わないでください。本体との接続に障害を起す場合があります。

*2 1回押すと、前の画面に戻ります。長押しすると、ホーム画面が表示されます。

*3 ▶(再生/決定) ボタンとVOL(音量) -/+ボタンの+側に凸点(突起)がついています。操作の目安、端子の識別としてお使いください。

*4 リモコンで本体を操作できなくなったときに押してください。

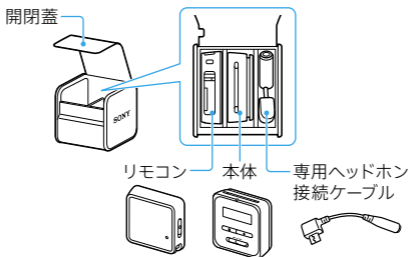
*5 お買い上げ時、ボタン型リチウム電池が取り付けられています。

便利な情報

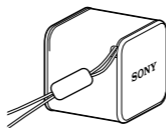
キャリングケースを使う

付属のキャリングケースに本体や付属品を入れて、まとめて持ち運ぶことができます。

以下のように入れてください。



リモコンに付けたストラップ(市販)は、下図のようにキャリングケース後面の穴に通すことができます。

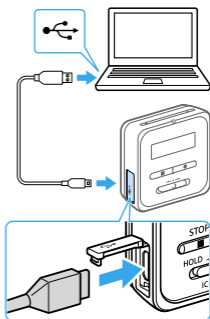


持ち運びの際は、キャリングケースから出したストラップをつかまないようにしてください。

準備3 本体を充電する


- 1 本体側面のUSB蓋を開け、付属のUSBケーブルで本体のUSB端子／ヘッドホン出力端子と起動しているパソコンのUSBポートを接続する。

充電が完了すると、電池マークが「**FULL**」と表示されます。



- 2 充電完了後、USBケーブルを本体とパソコンから取り外す。

必ず、画面に「アクセス中」と表示されていないことを確認し、下記の手順で取り外してください。この手順で行わないと、データが破損するおそれがあります。

Windowsの場合：タスクバー（パソコンの画面右下）にある「ハードウェアを安全に取り外してメディアを取り出す」アイコン  をクリックしてください。次に、[IC RECORDERの取り出し]をクリックしてください。アイコン、メニューの表示はOSの種類によって異なる場合があります。

Macの場合：Finderのサイドバーの[IC RECORDER]の取り外しアイコンをクリックしてください。

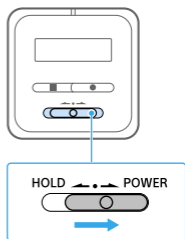
USB ACアダプターをつないで使う／充電する

別売りのUSB ACアダプター (AC-UD20) を使って、家庭用電源コンセントにつないで充電することもできます。充電をしながらICレコーダーを使用することができるため、長時間録音をする場合などに便利です。

- ・ 本体は、電源を入れている状態でも入れていない状態でも充電できます。
- ・ はじめてお使いになる場合や、しばらくお使いにならなかった場合は、電池マークが「**FULL**」になるまで充電してください。電池を使い果たした状態から約1時間で充電が完了します。
- ・ パソコンから取り外す方法については、ヘルプガイド (88 ページ)、またはお使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。
- ・ USB ACアダプターは容易に手が届くような電源コンセントに接続し、異常が生じた場合は速やかにコンセントから抜いてください。

準備4 本体の電源を入れる

- 1 画面が表示されるまで、HOLD・POWERスイッチを「POWER」の方向へスライドさせる。



電源を切るには

画面に「電源オフ」と表示されるまで、HOLD・POWERスイッチを「POWER」の方向へスライドさせる。

準備5 初期設定をする

お買い上げのあと初めて本体の電源を入れたときは、「初期設定をしてください」と表示されます。リモコンを使って、初期設定を行ってください。

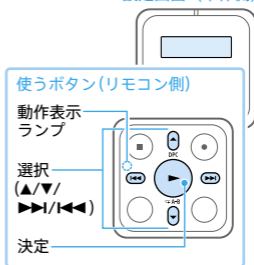
- 1 リモコンのHOLDスイッチを「HOLD」の矢印と反対側にスライドさせる。
(18 ページ)

リモコンの裏面にある黄色いラベルを取り外してください。

- 2 「初期設定をしてください」と表示されたら、リモコンのいずれかのボタンを押す。

リモコンの電源が入ります。ボタンを押して動作表示ランプが点滅した場合は、点滅が消えてから次の手順に進んでください。

設定画面 (本体側)



- 3 リモコンの▶▶ (決定) ボタンを押す。

リモコンのボタンを押してください
▶▶:決定

- 4 年(西暦)を選び、決定する。
同じ操作を繰り返し、月、
日、時、分の順に設定する。
リモコンのBACK/HOMEボタ
ンを押すと、カーソルが1つ前の
項目に戻ります。


2017年 1 月 1 日
12 : 00 AM

- 5 分を設定したら、「次へ」を
選び、決定する。
操作音の設定画面が表示され
ます。

2017年10月10日
12:00 AM
次へ やり直す

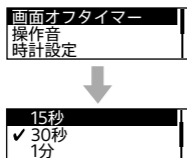
- 6 「はい」または「いいえ」を選
び、決定する。
設定が完了すると、ホームメ
ニュー画面が表示されます。


操作音を
使用しますか？
はい いいえ

- ・ 操作音は、本体にヘッドホンを接続して使用するときのみ聞こえます。
- ・ 時計設定と操作音設定は、ホームメニュー(26 ページ)→各種設定→「共通設定」で後から変更もできます。
- ・ 画面は一定時間で自動的に消えます。
画面を表示したいときは、BACK/HOMEボタンを押してください。
(8 ページ)

画面が自動的に消えるまでの時間を設定する (画面オフタイマー)

お買い上げ時の設定では、電池の消費を抑えるために「画面オフタイマー」が「30秒」に設定されています。本体やリモコンの操作をしないまま約30秒経過すると、画面表示が消えます。画面表示が消えた状態でも、ボタン操作を行うことができます。画面を表示したいときは、リモコンのBACK/HOMEボタンを押すか、本体のHOLD・POWERスイッチを一度「HOLD」の方向にスライドさせてから、中央位置に戻してください。

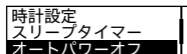



画面オフに入るまでの時間を変更するには、リモコンを操作して、ホームメニュー(26ページ)の「 各種設定」→「共通設定」→「画面オフタイマー」で「画面を消さない」または「15秒」、「30秒」、「1分」、「3分」、「5分」から選ぶ。

本体の電源が自動的に切れるまでの時間を設定する (オートパワーオフ)

あらかじめ指定した時間が経過すると、自動的に本体の電源が切れるように設定できます。オートパワーオフ機能は、本体が停止状態で、操作をしないまま設定した時間が経過したときに働きます。

お買い上げ時の設定は、30分になっています。



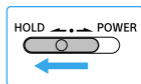
リモコンを操作して、ホームメニュー→「 各種設定」→「共通設定」→「オートパワーオフ」→お好みの時間を選ぶ。

- ・ 選べる時間は以下のとおりです。
5分、10分、30分、60分
「オフ」を選ぶとオートパワーオフは働きません。
- ・ Bluetooth接続中でも、オートパワーオフ機能は有効です。必要に応じて、設定時間を変更してください。
- ・ リモコンで本体を操作できない場合は、本体の電源が入っているか、また、本体とリモコンがホールド状態でないことを確認してください。

誤操作を防止する(ホールド)

持ち運ぶ際など、誤ってボタンが押されて動作することを防ぐために、本体の各ボタン操作を無効にすることができます。

本体のHOLD・POWERスイッチを「HOLD」の方向にスライドさせます。



電源が入っているときに操作すると、本体の画面に「ホールド」と約3秒間表示されます。

ホールド	12:00 AM
------	----------

リモコンを使う

本体では録音、停止のみ操作することができます。それ以外の操作は、リモコンで行います。

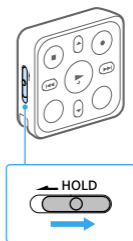
ホールドを解除する

お買い上げ時は、HOLDスイッチがオンになっています。

必ずホールドを解除してからお使いください。

ホールドを解除すると、ボタン操作ができるようになります。

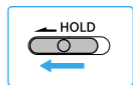
- 1 HOLDスイッチを「HOLD」の矢印と反対側にスライドさせる。



ホールド状態にする

持ち運ぶ際など、誤ってボタンが押されて動作することを防ぐために、各ボタン操作を無効にすることができます。

- 1 HOLDスイッチを「HOLD」の矢印の方向にスライドさせる。



リモコンの電源を入れる

リモコンには電源ボタンがありません。リモコンの電源が切れた状態でいずれかのボタンを押すと、リモコンの電源が入り、その後、本体との接続処理を行います。接続処理中は、リモコンの動作表示ランプ(①)が点滅を繰り返します。(84 ページ)



接続処理中はリモコンのボタン操作ができません。点滅が消えてから操作してください。

リモコンの電源を切る

リモコンには電源ボタンがありません。以下のような場合に自動的に電源が切れます。

- 本体と接続されていない状態で、約5分間リモコンを操作しなかったとき
- 本体と接続されている状態で、本体の電源を切ったとき
- 本体と接続されている状態で、約2時間リモコンを操作しなかったとき

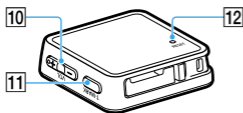
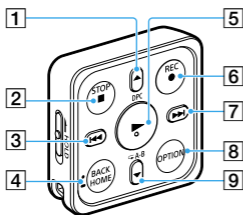
電源が切れると、リモコンの動作表示ランプが2秒間点灯します。(84 ページ)

リモコンの電源が切れた後にリモコンで操作をする際は、リモコンの電源を入れてから、再度リモコンを操作してください。

リモコンのボタンについて

リモコンには以下のボタンがあります。

ボタンを押すとリモコンの動作表示ランプが1回点滅します。
(84 ページ)



- 1 ▲/DPC (速度調節) ボタン
- 2 ■STOP (停止) ボタン
- 3 ◀◀ (早戻し/選択) ボタン
- 4 ●BACK/ ●HOME (戻る/ホーム (長押し)) ボタン
- 5 ▶ (再生/決定) ボタン
- 6 ●REC (録音) ボタン
- 7 ▶▶ (早送り/選択) ボタン
- 8 OPTION (オプション) ボタン
- 9 ▼/↺ (リピート) A-B ボタン
- 10 VOL (音量) -/+ ボタン
- 11 T-MARK (トラックマーク) ボタン
- 12 RESET (リセット) ボタン

電池が少なくなると、動作表示ランプの色が青から赤に変わります。

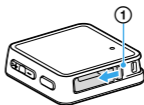
電池を交換する

リモコンの電池の残量が少なくなると、リモコンの動作表示ランプの色が青から赤に変わり、電池の交換時期をお知らせします。

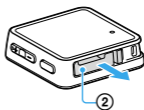
電池の残量が完全になくなると、動作表示ランプが赤く点灯し続け、操作ができなくなります。以下の手順に従って、電池を交換してください。必ずボタン型リチウム電池CR2032をお使いください。

1 リモコンの底面を上にする。

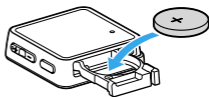
2 リモコン側面のタブ(①)を矢印の方向に押しながら、溝(②)に爪をかけて電池トレイを引き出す。



3 電池トレイから、使用済みの電池を取り出す。



4 +の面を上にして、新しい電池を電池トレイに入れる。



5 電池トレイをリモコンに入れる。

カチッと音がしてロックされたことを確認してください。

6 リモコンのRESETボタンを押す。

7 本体の電源を入れ、リモコンのいずれかのボタンを押す。

リモコンの電源が入り、本体との登録処理を行います。登録処理中は、リモコンの動作表示ランプが赤青交互に点滅します。

(84 ページ)

登録処理中は、リモコンのボタン操作ができません。点滅が消えてから操作をしてください。

リセットする

リモコン操作ができなくなったときは、ペン先や伸ばしたクリップなどを使って裏面のRESETボタン(①)を押してください。



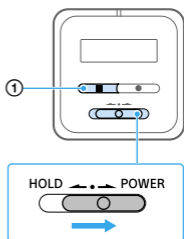
本体にリモコンを登録する

お買い上げ時の状態では、すでに本体にリモコンが登録されていますが、修理に出していたリモコンが戻ってきた際などに、以下の手順で本体にリモコンを登録し直す必要があります。

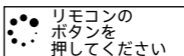
- 1 本体が電源オフの状態
で、本体の■STOPボタン(①)
を押しながら、本体の
HOLD・POWERスイッチ
を「POWER」の方向へスラ
イドさせたままの状態
で8秒間維持する。

画面が消えたらリスタートが行われるので、本体の■STOPボタンを押したまま、HOLD・POWERスイッチから指を離してください。

- 2 本体の画面に「Power On」と表示されたら、本体の■STOPボタンから指を離す。
画面に「リモコンのボタンを押してください」と表示されます。



リモコンを使う



3 リモコンのRESETボタン (22 ページ)を押してから、 リモコンのいずれかのボタ ンを押す。

リモコンの動作表示ランプが赤
青交互に点滅し、登録処理が始
まります。(84 ページ)

登録処理が終わると、「リモコ
ンを登録しました」と表示され
ます。

リモコンを 登録しました [XX : XX : XX : XX]
--

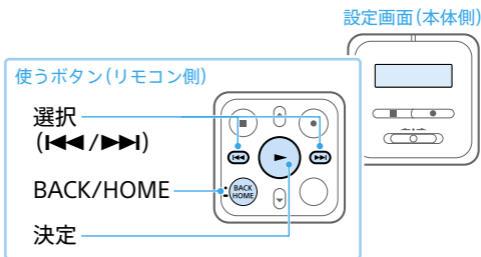
- ・ 登録処理中はリモコンのボタン操作ができません。リモコンの動作表示ランプの点滅が消えてから操作してください。
- ・ リモコンを操作できない場合は、リモコンがホールド状態でないかを確認してください。

メニューの見かた

ホームメニューで使いたい機能を選ぶ

ICレコーダーでは、各機能の入り口がホームメニューです。ここから各機能を選んだり、録音したファイルを探したり、設定を変更したりすることができます。

ホームメニューは、リモコンで操作して表示してください。



- 1 BACK/HOMEボタンを長押しする。

ホームメニュー画面が表示されます。

ホームメニューは、27ページの図の順序で並んでいます。



- 2 使いたい機能を選択して、決定する。

ホームメニューで選べる機能

以下の機能が選べます。



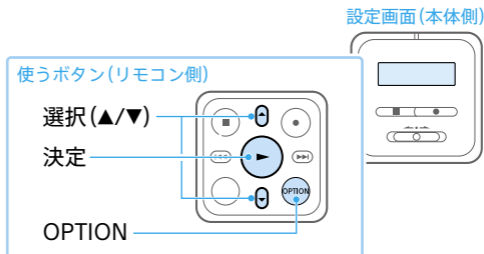
ミュージック	パソコンから転送した音楽ファイルを選んで、再生できます。音楽ファイルは、「全曲」、「アルバム」、「アーティスト」または「フォルダ」のいずれかの方法から探せます。ファイルを転送するときは、MUSICフォルダ内に入れてください。
録音したファイル	ICレコーダーで録音したファイルを選んで、再生できます。録音したファイルは、「最新の録音」、「録音日で探す」、「録音シーンで探す」または「フォルダ」のいずれかの方法から探せます。
録音	録音画面を表示します。録音を開始するには、●RECボタンを押します。
REC Remote	Bluetooth機能を使ったREC Remoteのメニューを表示します。(60 ページ) REC Remote を使用する際に必要な機器登録(ペアリング)やBluetoothのオン/オフ設定はここから行います。
各種設定	ICレコーダーのさまざまな設定(29 ページ)を変更できます。
XX画面へ*	ホームメニューに入る前に表示していた画面に戻ります。

* XXには、現在使用している機能が表示されます。

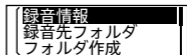
ホームメニューで操作中に■STOPボタンを押すと、ホームメニューに入る前に表示していた画面に戻ります。

オプションメニューで設定する

OPTIONボタンを押すと、使用している機能に応じたオプションメニューが表示され、設定の変更などができます。オプションメニューは、リモコンで操作して表示してください。



- 1 ホームメニュー(26 ページ)で機能を選んだあと、OPTIONボタンを押す。使用している機能のオプションメニュー(30 ページ)が表示されます。




例) 録音停止時のオプションメニュー表示

- 2 設定したい項目を選び、決定する。
- 3 設定内容を選び、決定する。

- ・ 画面によっては、オプションメニューが表示されないこともあります。
- ・ メニュー操作中にBACK/HOMEボタンを押すと、前の画面に戻ります。

各種設定メニュー一覧

ホームメニュー(26 ページ)で「 各種設定」を選んでいるときに選択可能なメニューです。

設定メニュー	設定項目	参照ページ
録音設定	録音先フォルダ	35
	フォルダ作成	35
	シーンセレクト	37
	録音モード	40
	マイク感度設定	40
	フォーカス/ワイド	41
	録音フィルター	42
	VOR	43
	自動トラックマーク	44
再生設定	クリアボイス	52
	イージーサーチ	54
	再生モード	57
	再生範囲設定	58
共通設定	ランプ	74
	画面オフタイマー	15
	操作音	74
	時計設定	75
	スリープタイマー	76
	オートパワーオフ	15
	各種初期化	76
	録音可能時間	77
本体情報	77	

オプションメニュー一覧

録音

録音中、録音停止中に表示できます。条件によっては表示されない項目もあります。

オプションメニュー名	参照ページ
録音情報	42
録音先フォルダ	35
フォルダ作成	35
シーンセレクト	37
録音開始タイマー	43
録音モード	40
マイク感度設定	40
フォーカス/ワイド	41
録音フィルター	42
VOR	43
1ファイル削除	64

録音したファイル

録音したファイルの一覧を表示させているときや再生中、再生停止中に表示できます。条件によっては表示されない項目もあります。


オプションメニュー名	参照ページ
書き起こし用再生	55
書き起こし終了	55
クリアボイス	52
イージーサーチ	54
イージーサーチ間隔設定	54
再生モード	57
再生範囲設定	58
1ファイル削除	64
保護	66
保護解除	66
トラックマーク一覧	56
トラックマーク削除	69
分割	71
リスト内全削除	64
フォルダ内全削除	64
ファイル移動	73
ファイルコピー	73
ファイル名変更	67
ファイル情報	58
フォルダ作成	35
フォルダ削除	64
フォルダ名変更	67

ミュージック

パソコンから転送した音楽ファイルの再生中、再生停止中に表示できます。
条件によっては表示されない項目もあります。

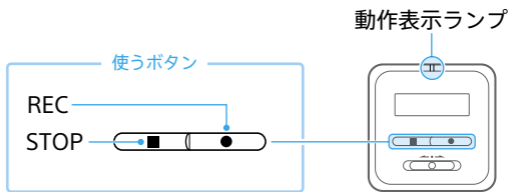
オプションメニュー名	参照ページ
書き起こし用再生	55
書き起こし終了	55
イージーサーチ	54
再生モード	57
再生範囲設定	58
1ファイル削除	64
保護	66
保護解除	66
トラックマーク一覧	56
トラックマーク削除	69
リスト内全削除	64
フォルダ内全削除	64
ファイル情報	58
フォルダ削除	64

録音する

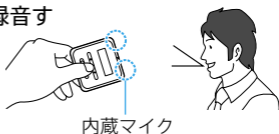
録音した音声ファイルは、お買い上げ時の設定では「 録音したファイル」の「FOLDER01」フォルダに保存されます。「FOLDER01」以外のフォルダに録音したいときは、新しくフォルダを作成してください(35 ページ)。

録音は、本体またはリモコンのどちらからでも行うことができますが、必ず本体の動作表示ランプで録音開始されたことを確認してください。リモコンでは、本体の動作状態を確認することはできません。

また、リモコンから録音を行う際は、必ず本体およびリモコンの電源が入っていることを事前に確認してください。

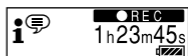


- 1 本体の内蔵マイクを録音する音の方向へ向ける。



2 RECボタンを押す。

本体の画面に「REC」が表示されて録音が始まり、動作表示ランプが赤く点灯します。



3 録音を止めるにはSTOPボタンを押す。

本体の画面に「保存中」と表示され、録音が停止します。

- ・ 録音する前に、本体とリモコンがホールド状態でないことを確認してください。
- ・ 録音を保存するフォルダを変更したい場合は、録音停止中にリモコンを操作して、オプションメニュー→「録音先フォルダ」画面で、フォルダを指定してください。
- ・ 録音停止中にリモコンを操作して、オプションメニュー→「シーンセレクト」を選ぶと、録音シーンにあわせた設定を行うことができます。(37 ページ)
- ・ 再生中やメニューを表示中でも、RECボタンを押すと録音を開始できます。
- ・ 録音中の音を確認しながら録音することをおすすめします。付属の専用ヘッドホン接続ケーブルを使用して、付属のステレオヘッドホンを本体につないでください。(46 ページ)
- ・ ファイルは、録音開始日時に録音モードの拡張子が付いたもの(例：171010_0706.mp3)がファイル名となります。
- ・ 録音の途中でファイルサイズの上限(LPCMは4 GB、MP3は1 GB)を超えてしまう場合は、ファイルが分割されます。分割された位置の前後で音切れが発生する場合があります。

ためし録りのススメ

部屋の大きさ、話をする人の声の大きさ、パソコンを近くで使用しているのかどうか…。

録音環境は人や状況、場所によってさまざまです。望まれる「音質」も録音対象によって変わってきます。

ためし録りは大切な録音を失敗しないため、また録音環境を整えて理想の音質に近づけるために大変有効なものです。

本体の電源がオフでも録音を開始できる (ワンプッシュ録音)


本体の電源がオフのときでも、本体のRECボタンを押すと電源が入り、録音が始まります。

録音を止めるには、STOPボタンを押してください。

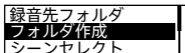
POWER・HOLDスイッチを「HOLD」にしている場合は、RECボタンを押しても録音は開始されません。


ワンプッシュ録音は、本体のRECボタンでのみ操作できます。
リモコンのRECボタンでは機能しません。

録音した音声ファイルの保存場所の変更

録音した音声ファイルは、お買い上げ時の設定では「 録音したファイル」の「FOLDER01」フォルダに保存されますが、新しいフォルダを作成して、作成したフォルダを指定することで保存先を変更することができます。

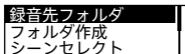
フォルダを作成する




- ① リモコンを操作して、ホームメニューで「 各種設定」→「録音設定」→「フォルダ作成」を選び、決定する。
- ② ▲または▼ボタンでフォルダ名をテンプレートから選び、決定する。フォルダが追加されます。

不要になったフォルダは削除することができます(65 ページ)。

録音先フォルダを変更する



- ① リモコンを操作して、ホームメニューで「 各種設定」→「録音設定」→「録音先フォルダ」を選び、決定する。
- ② ▲または▼ボタンを押してフォルダを選び、決定する。

上手に録音するコツーノイズの原因と対策

ノイズとして録音される可能性のある音について

ICレコーダーには、音声以外のさまざまな音が録音されてしまうことがあり、ノイズとして聞こえてしまいます。



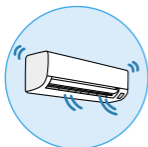
触れたときの音



机に当たる音



衣服と擦れる音



エアコンやパソコンなどの動作音や振動



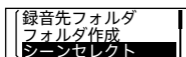
マイクにあたる吐息

録音されるノイズを軽減するには

- 録音中に本体に触れると、タッチノイズとして録音されてしまう場合があります。録音が終わるまでは、なるべく本体に触れないようにしてください。
- ノイズの原因となっている音から遠ざけるか、取りのぞいてください。
- 状況や録音シーンに合わせて、次の機能をお使いください。
 - シーンセレクト (37 ページ)
 - 録音モード (40 ページ)
 - マイク感度設定 (40 ページ)
 - 録音フィルター (42 ページ)

シーンセレクト機能を使う

シーンセレクト機能は、さまざまな録音シーンに合わせて、録音モードやマイク感度などの録音に必要な項目を、一括でおすすめの設定に切り替えることができます。



録音停止中にリモコンを操作して、オプションメニューで「シーンセレクト」→用途に合った項目(シーン)を選ぶ。

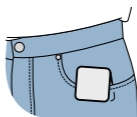
• おまかせボイス (お買い上げ時の設定)

入力音声レベルを判断して適正な感度で録音します。感度設定を間違えて再生時によく聞こえないなどの録音ミスを少なくします。

「おまかせボイス」は人の声(音声)に特化した設定項目ですが、くしゃみや静かな会話からの急な笑い声など、突発的な大きな音が入力された場合は、音がひずむことがあります。

• ポケット

衣服のポケットなどに付けて録音するときに適しています。



• 会議

広い会議室での録音など、幅広い用途に適しています。ワイド録音(42ページ)に設定されます。ハンカチなどの上に本体をのせることで、机から伝わる振動音などのノイズを低減できます。



• 講演

講演会や講義を録音するときに適しています。フォーカス録音(41 ページ)に設定されます。



• ボイスメモ *1

マイクを口元に近づけて録音するときに適しています。録音するときは、マイク部に息がかからないように口のやや横に本体を近づけましょう。



• インタビュー *2

インタビューや少人数での打ち合わせなど、1m～2mくらいの距離で人の声を録音するときに適しています。マイクの向きをインタビュー相手に合わせて録音します。







*1 録音画面では、 が表示されます。



*2 録音画面では、 が表示されます。

- ・ 設定したシーンは録音画面にアイコンで表示されます。シーンを設定していても、「録音モード」や「マイク感度」の設定は変更可能です。
- ・ 登録されているシーンは、すべての環境に対応しているわけではありません。環境に合ったシーンがない場合は、シーン選択後に「録音モード」や「マイク感度」などの設定を変更してご使用ください。

シーンセレクト機能のお買い上げ時の録音設定について

シーンセレクト機能の各項目は、以下のように設定されています(お買い上げ時の設定)。

	おまかせ ボイス 	ポケット 	会議 	講演 
録音モード	MP3 192 kbps	MP3 192 kbps	MP3 192 kbps	MP3 192 kbps
マイク感度設定	オート	中	中	中
フォーカス ／ワイド	オフ	オフ	ワイド	フォーカス
VOR	オフ	オフ	オフ	オフ
録音フィルター	NCF (Noise Cut)	LCF (Low Cut)	NCF (Noise Cut)	NCF (Noise Cut)

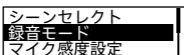
	ボイスメモ  *1	インタ ビュー  *2	オフ
録音モード	MP3 128 kbps	MP3 128 kbps	MP3 192 kbps
マイク感度設定	低	中	中
フォーカス ／ワイド	オフ	オフ	オフ
VOR	オフ	オフ	オフ
録音フィルター	LCF (Low Cut)	NCF (Noise Cut)	オフ


*1 録音画面では、が表示されます。

*2 録音画面では、が表示されます。

録音モードを変更する

録音するファイルの録音モード(音質など)を設定できます。

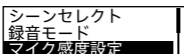



- ① リモコンを操作して、ホームメニューで「 各種設定」→「録音設定」→「録音モード」を選ぶ。
- ② お好みの項目を選び、決定する。

LPCMやMP3など、音質を選びます。音質が気になる場合は、LPCM 44.1kHz/16bitまたはMP3 192kbpsをおすすめします。

内蔵マイク感度設定を変更する

内蔵マイクのマイク感度を設定できます。マイク感度を下げると周囲の音や遠くで聞こえる音が小さくなるため、ノイズが少なく録音されます。




- ① リモコンを操作して、ホームメニューで「 各種設定」→「録音設定」→「マイク感度設定」を選ぶ。
- ② お好みの項目を選び、決定する。
▲または▼ボタンで「オート」、「高」、「中」または「低」を選択することができます。

フォーカス録音／ワイド録音を設定する

録音シーンや用途に合わせて、フォーカス録音またはワイド録音に設定します。

マイク感度設定
フォーカス／ワイド
録音フィルター

- ① リモコンを操作して、ホームメニューで「 各種設定」→「録音設定」→「フォーカス／ワイド」を選ぶ。
- ② 「オフ」*、「フォーカス」、「ワイド」からお好みの項目を選び、決定する。

* お買い上げ時の設定

マイク感度設定が「オート」に設定されているときは、フォーカス／ワイド録音の設定が無効になります。

フォーカス録音



録音対象の両サイドの音を抑えることで、前方の音をしっかり録音。指向性が強く、狙った音にフォーカスできるので、講演会やセミナーなど広い会場での録音やインタビューに役立ちます。

シーンセレクト機能で「講演」を選択すると、フォーカス録音に設定されます。

ワイド録音




左右の定位を強調することで声の重なりを減らして、ステレオ感を向上。人の位置関係が明瞭になり誰の発言が分かりやすくなるので、聞き取りや書き取りが快適です。
シーンセレクト機能で「会議」を選択すると、ワイド録音に設定されます。

ノイズを軽減して録音する(録音フィルター)

録音フィルターを設定するとノイズを軽減した録音ができます。

マイク感度設定
フォーカス/ワイド
録音フィルター

リモコンを操作して、ホームメニューで「各種設定」→「録音設定」→「録音フィルター」→お好みの設定を選ぶ。

オフ	録音フィルターを解除します。
NCF (Noise Cut)	音声以外の周波数の音をカットします。
LCF (Low Cut)	低い周波数の音をカットします。

録音情報を表示する

録音可能時間や録音先のフォルダの設定などを表示します。

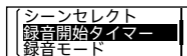
録音情報
録音先フォルダ
フォルダ作成

録音停止中にリモコンを操作して、オプションメニュー→「録音情報」を選ぶ。
録音停止中に■STOPボタンを押しても、録音情報を表示できます。

その他の方法で録音する

録音開始タイマーを使う

設定された時間が経過すると、自動的に録音を開始します。

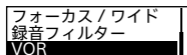



録音停止中にリモコンを操作して、オプションメニュー→「録音開始タイマー」→録音を開始するまでの時間を選ぶ。

- ・ 15秒から60分まで設定できます。
- ・ 録音開始タイマーよりも早い時間にスリープタイマー機能を設定している場合は、スリープタイマーに設定した時間が経過すると本体の電源が切れます。

音がしたとき自動録音する(VOR録音)

VOR (Voice Operated Recording) 録音は、ある大きさ以上の音をマイクが拾うと自動的に録音が始まり、音が小さくなると録音が一時的に停止する機能です。




リモコンを操作して、ホームメニューで「 各種設定」→「録音設定」→「VOR」→「オン」を選ぶ。

- ・ 「オン」を選んだあとに録音を開始してください。
- ・ VOR機能は周囲の環境に左右されます。状況に合わせてマイク感度を切り替えてください。
マイク感度を切り替えても思いどおりに録音できないときや、大切な録音をするときは、メニューで「VOR」を「オフ」に設定してください。

自動的にトラックマークを付ける

通常録音にトラックマーク (68 ページ) をお好みの間隔で自動的に付けられます。

録音フィルター
VOR
自動トラックマーク

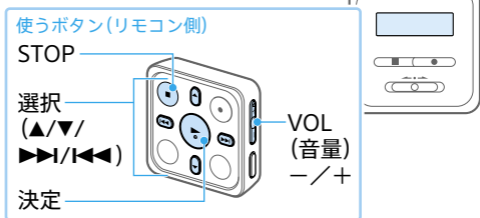
- ① リモコンを操作して、ホームメニュー → 「 各種設定」 → 「録音設定」 → 「自動トラックマーク」を選ぶ。
- ② 「間隔設定」を選び、トラックマークを付ける間隔 (5分、10分、15分、30分) を設定する。
設定が「オン」になります。
- ③ 「時刻情報」を選び、「時刻情報を入れる」を有効にする。
自動トラックマークが付いたときの時刻の情報を、トラックマークに入れることができます。
長時間の会話などを録音する際に、トラックマークが付けられた時刻から目的の位置を探すときに便利です。

再生する

本機にはスピーカーが内蔵されていません。音声を聞くには、付属のヘッドホン専用ヘッドホン接続ケーブルで本体に接続する必要があります。再生の操作はリモコンで行います。

ICレコーダーで録音したファイルを再生する

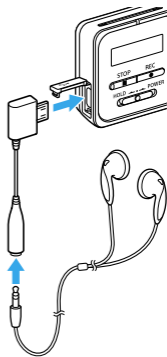
再生画面(本体側)




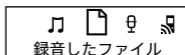
- 1 付属の専用ヘッドホン接続ケーブルを使用して、本体のUSB端子/ヘッドホン出力端子と付属のステレオヘッドホンを接続する。

ヘッドホン専用ヘッドホン接続ケーブルに奥までしっかりと差し込んでください。

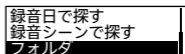
ヘッドホンが正しく接続されていないと、音が正常に聞こえません。



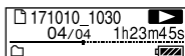
- 2 リモコンを操作して、ホームメニュー(26 ページ)で「 録音したファイル」を選び、決定する。



- 3 「フォルダ」→「FOLDER01」を選び、決定する。




- 4 再生したいファイルを選び、決定する。



ファイルが再生されます。

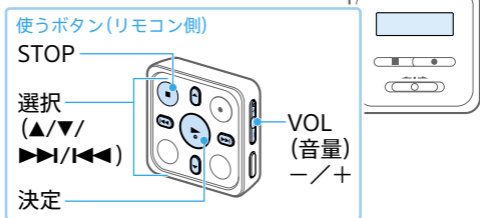
- 5 再生を止めるには、STOPボタンを押す。

- ・ 録音停止後にリモコンの▶(再生)ボタンを押すと、今録音したファイルを再生できます。
- ・ 「 録音したファイル」を選ぶと、ファイルの検索方法を選択する画面が表示されます。検索方法は、「最新の録音」、「録音日で探す」、「録音シーンで探す」、「フォルダ」のいずれかを選択できます。
- ・ 音量を調節するには、リモコンのVOL-/+ボタンを押します。

ICレコーダーに転送した音楽ファイルを再生する

パソコンを使って音楽ファイルをICレコーダーに転送して再生する場合は、「IC RECORDER」の「MUSIC」フォルダにファイルのアイコンをドラッグアンドドロップしてください。

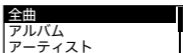
再生画面(本体側)



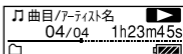
- 1 付属の専用ヘッドホン接続ケーブルを使用して、本体のUSB端子/ヘッドホン出力端子と付属のステレオヘッドホンを接続する。
- 2 リモコンを操作して、ホームメニュー(26ページ)で「♪ミュージック」を選び、決定する。



3 ▲または▼ボタンを押して、「全曲」、「アルバム」、「アーティスト」または「フォルダ」を選び、決定する。



4 再生したいファイルを選び、決定する。



ファイルが再生されます。

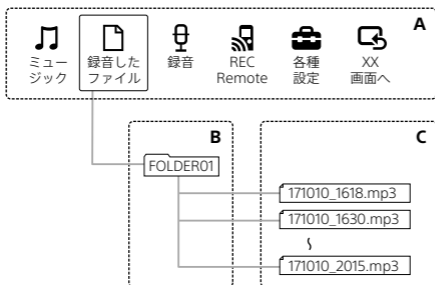
5 再生を止めるには、STOPボタンを押す。

- ・ ICレコーダーで再生できるファイル形式は、90ページをご覧ください。
- ・ Sound Organizer 2を使って、ファイルを転送する場合は、別冊の「Sound Organizer 2を使う」の「Step5 ICレコーダー本体に転送しよう！」をご覧ください。
- ・ 音量を調節するには、リモコンのVOL-/+ボタンを押します。

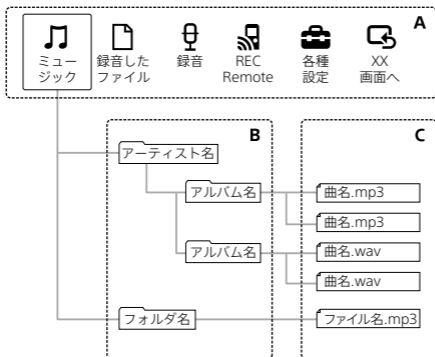
フォルダとファイルについて

ICレコーダー上で見えるフォルダとファイルの構成

「📁 録音したファイル」の場合



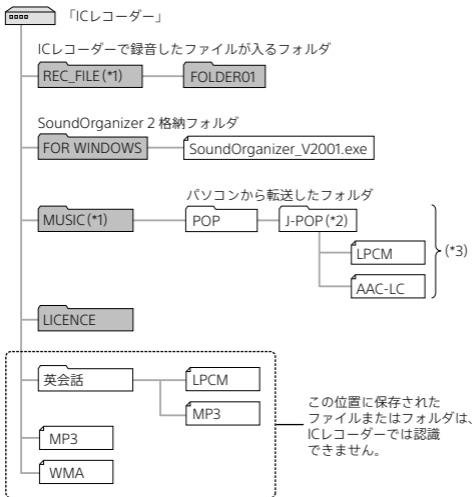
「🎵 ミュージック」の場合





A : ホームメニュー **B** : フォルダ **C** : ファイル

パソコン上で見えるフォルダとファイルの構成

ICレコーダーをパソコンに接続すると、フォルダやファイルの構成をパソコンの画面で見ることができます。WindowsではExplorerを使って、MacではFinderを使って、「IC RECORDER」を開くと、フォルダやファイルを表示できます。パソコンの画面で見ると、次の図のように表示されます。



*1 REC_FILEフォルダの中のファイルが、「 録音したファイル」に表示されるファイルです。MUSICフォルダの中のファイルが、「 ミュージック」に表示されるファイルです。ファイルを転送するときは、REC_FILEフォルダ内またはMUSICフォルダ内に入れてください。

*2 音楽ファイルが保存されたフォルダ名はICレコーダーでも同じフォルダ名として表示されます。管理しやすいフォルダ名にしておくとう便利です。(図は、フォルダ名称の例です。)

*3 音楽ファイルを認識できるのは、ICレコーダーに転送したフォルダの8階層目までとなります。

- ・パソコンにある音楽ファイルをICレコーダーに転送するときには、あらかじめタイトルやアーティストなどの情報を登録しておくとう便利です。
情報を登録すると、ICレコーダーで音楽ファイルの情報を表示したり、登録した情報から音楽ファイルを検索したりすることができます。
- ・タイトル名が登録されていない場合は、ICレコーダーではファイル名が表示されます。

便利な情報

雑音を低減して音声を聞きやすくする(クリアボイス)

録音したファイルの音声以外の周辺ノイズをカットするため、クリアな音質で再生できます。

書き起こし用再生
クリアボイス
イージーサーチ

再生停止中／再生中にリモコンを操作して、オプションメニュー → 「クリアボイス」 → お好みの設定を選ぶ。

オフ	クリアボイス機能を解除します。
クリアボイス1	音声以外のノイズを低減し、声の大きさを自動調整して聞きやすいクリアな音になります。
クリアボイス2	「クリアボイス1」よりもさらに強いノイズ低減、音声の自動調整効果により、クリアな音質になります。

「♪ミュージック」内のファイル再生時は、クリアボイス機能は働きません。

再生速度を調節する (DPC)

DPC (Digital Pitch Control) 機能を使うと、再生速度を0.25倍速から3.00倍速の間で調節できます。その際、音程はデジタル処理により、自然に近いレベルで再生されます。

オフ
✓ オン(x1.00)
└ 速度設定

- ①再生停止中／再生中に、リモコンの▲DPC (速度調節) ボタンを押す。
- ②「速度設定」を選び、再生速度を選択する (0.05倍速刻み (×0.25 ~ ×1.00)、または0.10倍速刻み (×1.00 ~ ×3.00))。設定が「オン」になります。

その他の方法で再生する

録音直後に再生する

録音を停止したあとに、録音停止画面で▶ボタンを押す。

再生中に早送り／早戻しする(キュー／レビュー)

再生停止中／再生中に、◀◀ (早戻し・レビュー) または▶▶ (早送り・キュー) ボタンを押したままにして、聞きたいところで離す。

最初は少しずつ早送り／早戻しされるので、1語分だけ戻したり、送ったりして聞きたいときに便利です。押し続けると、高速での早送り／早戻しになります。

聞きたいところをすばやく探す(イージーサーチ)

イージーサーチ機能を使うと、再生を開始したい場所をすばやく見つけることができます。

早送り／早戻しの間隔を設定することで、長時間録音したものでも聞きたいところをすばやく探すことができます。

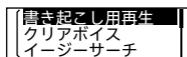
書き起こし用再生
クリアボイス
イージーサーチ

再生停止中／再生中にリモコンを操作して、オプションメニュー → 「イージーサーチ」→「オン」または「オフ」を選ぶ。

オフ	イージーサーチ機能を無効にします。
オン	「間隔設定」で設定した間隔で再生を進めたり戻したりできます。
間隔設定	「イージーサーチ送り」で▶▶ボタンを押したときに進む間隔を、「イージーサーチ戻し」で◀◀ボタンを押したときに戻る間隔を設定します。

録音を書き起こす(書き起こし用再生)

書き起こし用再生機能を使うと、録音した1つのファイルを早送り/早戻ししながら聞きたい箇所を探せるので、議事録などを書き起こすときに便利です。書き起こし用再生中はファイルが繰り返し再生されます。

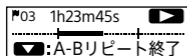


- ①再生停止中にリモコンを操作して、オプションメニュー → 「書き起こし用再生」を選ぶ。
- ②▶ ボタンを押して再生を開始する。

- ・書き起こし用再生中は働かない機能があります。詳しくはヘルプガイド(88 ページ)をご覧ください。
- ・書き起こし用再生中または停止中に、オプションメニューから「書き起こし終了」を選ぶと、書き起こし用再生が終了して通常の再生になります。

必要な部分だけを再生する(A-Bリピート)

指定したA点とB点の区間を繰り返し再生します。



- ①再生停止中/再生中に、リモコンの▼/↶ A-Bボタンを押して、A点を指定する。
- ②もう一度▼/↶ A-Bボタンを押して、B点を指定する。
指定した区間が繰り返し再生されます。
- ③通常の再生に戻すには、▼/↶ A-Bボタンをもう一度押す。

再生停止中、A点を指定したあと、同じ場所にB点を指定することはできません。この場合、A点がキャンセルされます。

簡単に1ファイルをリピート再生する(長押しリピート再生機能)

再生中にリモコンの▶ボタンを長押しするだけで、簡単に再生中のファイルをリピート再生することができます。機能を解除する場合は、▶ボタンまたは■STOPボタンを押してください。

- ・再生モードを設定している場合でも、長押しリピート再生機能を使うことができます。
- ・A-Bリピート再生中は、長押しリピート再生機能を使うことができません。

トラックマーク一覧から目的の再生位置を探す

トラックマーク一覧に表示されたトラックマークから、目的の再生位置を簡単に探すことができます。

トラックマーク一覧
トラックマーク削除
分割

再生停止中／再生中にリモコンを操作して、オプションメニュー→「トラックマーク一覧」→目的のトラックマークを選ぶ。

再生モードを変える


用途に応じて、1ファイルのみの再生やリピート再生などの再生モードを選べます。



再生停止中／再生中にリモコンを操作して、オプションメニュー → 「再生モード」 → お好みの設定を選ぶ。


ノーマル	再生範囲のファイルを順に再生します。
↶ リピート	再生範囲のファイルを順に繰り返し再生します。
1 1ファイル再生	再生中または再生を始めたファイルだけを再生します。
↶1 1ファイルリピート	再生中または再生を始めたファイルを繰り返し再生します。
↻ シャッフル	再生範囲の曲を順不同に再生します。
↶↻ シャッフルリピート	再生範囲の曲を順不同に繰り返し再生します。

再生範囲を指定する

「 録音したファイル」からファイルの検索方法(「最新の録音」、「録音日で探す」、「録音シーンで探す」、「フォルダ」)を選択して、表示された再生リストの中から再生する範囲を指定できます。

再生モード
再生範囲設定
1ファイル削除

- ①再生停止中／再生中にリモコンを操作して、オプションメニュー→「再生範囲設定」を選ぶ。
- ②「全範囲を再生」または「選択範囲内を再生」から選ぶ。

全範囲を再生	録音したファイルの再生、ミュージック再生で選んだ検索方法の対象となるファイルをすべて再生します。
 選択範囲内を再生	再生中のファイルを含むフォルダ(録音日、録音シーン、アーティスト、アルバムなど)の中のファイルを再生します。

ファイル情報を表示する

ICレコーダーで録音したファイルの情報(ファイルの長さや録音モード、作成日時など)を確認できます。

ファイルコピー
ファイル名変更
ファイル情報

- ①停止中にリモコンを操作して、オプションメニュー→「ファイル情報」を選ぶ。
- ②▲または▼ボタンを押して情報を切り替える。

ファイル情報として表示される項目について、詳しくはヘルプガイド(88ページ)をご覧ください。

スマートフォンで ICレコーダーを操作する (REC Remote)

スマートフォンに専用アプリ「REC Remote」をインストールすると、BLUETOOTH®機能を使って、スマートフォンからICレコーダーの録音操作をすることができます。

ICレコーダーの位置を固定して離れたところから録音操作ができるため、操作時のノイズが録音されることもないので便利です。




REC Remoteのインストールや操作方法については、「**REC Remote(レックリモート)を使う**」(別冊)をご覧ください。

- ・ 本体のオートパワーオフ機能が設定されているときは、設定した時間が経過するとBluetooth接続中でも電源が切れます。オートパワーオフ機能の設定を変更してください。
(15 ページ)
- ・ ICレコーダーをREC Remoteに接続するためには、最新のREC Remoteをインストールする必要があります。すでにREC Remoteをお使いの方も、必ず最新バージョンにアップデートしてください。

Bluetooth機能のオン/オフを切り換える

REC Remoteを使用する場合に、Bluetooth機能を「オン」に切り換えます。

Bluetoothオン/オフ 機器登録(ペアリング) Bluetooth情報


リモコンを操作して、ホームメニュー(26 ページ)→「 REC Remote」→「Bluetoothオン/オフ」→「オン」または「オフ」を選ぶ。

機器登録(ペアリング)する

ICレコーダーとスマートフォンを接続して、機器登録(ペアリング)します。

Bluetooth機器同士をはじめてワイヤレス接続するときは、お互いの機器を登録しあう必要があります。この登録のことを「ペアリング」といいます。

Bluetoothオン/オフ 機器登録(ペアリング) Bluetooth情報

- ① リモコンを操作して、ホームメニュー(26 ページ)→「 REC Remote」→「機器登録(ペアリング)」を選ぶ。ICレコーダーのBluetooth機能がオフになっている場合は、本体の画面に「Bluetoothをオンにしますか?」と表示されます。
- ② 「はい」を選択して、相手機器からのペアリング待ち状態にする。
- ③ スマートフォンのBluetooth機能をオンにする。
- ④ スマートフォンでREC Remoteを起動する。
- ⑤ スマートフォンでICD-TX800を検索し、互いの機器を登録する。

次のような場合は、機器登録(ペアリング)の情報が消えます。再度ペアリングしてください。


- ・ どちらかの機器、または両方の機器を、設定初期化などでお買い上げ時の状態に戻してしまった場合
- ・ 修理を行ったなど、機器登録(ペアリング)の情報が削除されてしまった場合

スマートフォンのREC Remoteと本機の接続方法は、REC Remoteのヘルプをご確認ください。

Bluetooth情報を表示する

Bluetooth機能の情報を表示します。

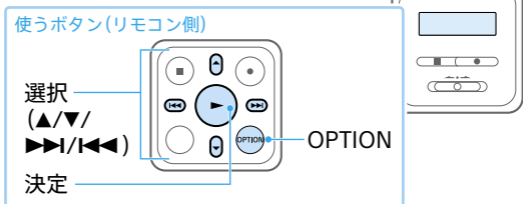
Bluetoothオン/オフ
機器登録(ペアリング)
Bluetooth情報



リモコンを操作して、ホームメニュー(26 ページ) → 「 REC Remote」 → 「Bluetooth情報」を選ぶ。

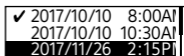
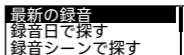
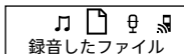
編集する

ファイルを削除する

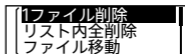
編集画面(本体側)



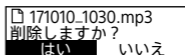
- 1 リモコンを操作して、ホームメニュー(26 ページ)で「 録音したファイル」または「 ミュージック」を選び、決定する。
- 2 選択ボタンを押してファイルを検索する方法を選ぶ。
- 3 削除したいファイルを選ぶ。




4 OPTIONボタンを押し、オプションメニュー(28 ページ)から「1ファイル削除」、「リスト内全削除」または「フォルダ内全削除」を選ぶ。



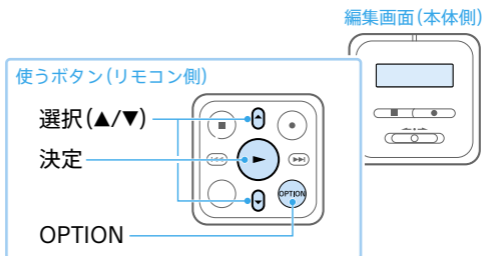
5 「はい」を選び、決定する。



- ・一度削除したファイルはもとに戻すことはできません。
- ・保護設定されているファイルは、削除できません。保護設定を解除してから操作してください(66 ページ)。
- ・手順1で「 録音したファイル」を選び、フォルダ選択画面でオプションメニューから「フォルダ削除」を選ぶと、選んだフォルダとフォルダの中身を一度に削除できます。ただし、フォルダ内にサブフォルダが存在する場合は、サブフォルダと中に保存されているファイルは削除されません。

ファイルを保護する

大事なファイルを間違って削除、編集することがないように保護できます。



- 1 再生停止中にOPTIONボタンを押し、「保護」を選ぶ。


再生範囲設定
1ファイル削除
保護

- 2 保護を解除するには、保護されたファイルを選んでOPTIONボタンを押し、「保護解除」を選ぶ。

再生範囲設定
1ファイル削除
保護解除

保護されたファイルは、ファイル情報表示画面で「ファイルの保護」に「保護あり」と表示されます。


フォルダやファイルの名前を変更する

ホームメニューの「 録音したファイル」内のフォルダとファイルの名前を変更できます。

フォルダの場合はテンプレートから変更するフォルダ名を選びます。

ファイルの場合はテンプレートから文字や記号を選択して、ファイル名の先頭に追加できます。

最新の録音
録音日で探す
録音シーンで探す


- ① リモコンを操作して、ホームメニュー → 「 録音したファイル」 → ファイルの検索方法を選び、名前を変更したいフォルダまたはファイルを選ぶ。

フォルダ作成
フォルダ削除
フォルダ名変更

- ② オプションメニュー → 「フォルダ名変更」または「ファイル名変更」を選ぶ。

会議
打ち合わせ
講義

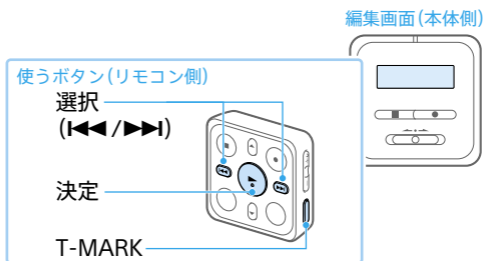
- ③ テンプレートからお好みのフォルダ名またはファイル名の先頭に追加したい文字、記号を選ぶ。

- ・ 「 ミュージック」内のフォルダ／ファイルは、操作できません。
- ・ 保護設定されているファイルは、操作できません。保護設定を解除してから操作してください(66 ページ)。
- ・ パソコンを使用すると、フォルダ名やファイル名を任意のものに変更することもできます。

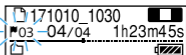
トラックマークを使う

トラックマークを付ける

再生時の頭出しや、分割位置の目安として利用するために、トラックマークを付けることができます。1つのファイルに98個まで設定できます。



- 1 録音中／再生中／再生停止中に、トラックマークを付けたい場所でT-MARKボタンを押す。



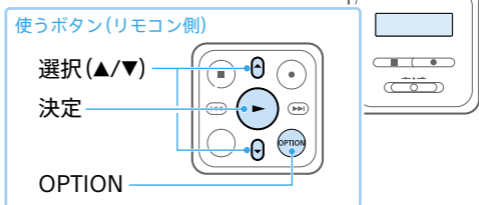
トラックマークが設定されます。

- ・ 保護設定されているファイルは、トラックマークが付けられません。保護設定を解除してから操作してください(66 ページ)。
- ・ トラックマークを付けた位置を探して聞くには、停止中／再生中に、選択ボタンを押します。
- ・ トラックマーク一覧から目的の再生位置をすばやく探すこともできます(56 ページ)。
- ・ 録音中に指定した間隔で自動的にトラックマークを付けられます(44 ページ)。

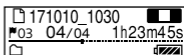
トラックマークを削除する

現在位置のトラックマークやすべてのトラックマークを削除します。

編集画面(本体側)



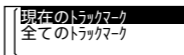
- 1 現在位置のトラックマークを削除する場合は、ファイルを選び削除したいトラックマーク位置の後で停止する。すべてのトラックマークを削除する場合は、ファイルを選ぶ。



- 2 OPTIONボタンを押し、「トラックマーク削除」を選ぶ。



- 3 「現在のトラックマーク」または「全てのトラックマーク」→「はい」を選ぶ。



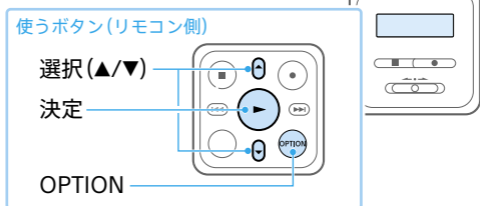
「お待ちください」のアニメーションが表示され、トラックマークが削除されます。

- ・ 保護設定されているファイルは、トラックマークを削除できません。保護設定を解除してから操作してください(66 ページ)。
- ・ 録音停止画面では、トラックマークを削除できません。ホームメニューを表示して、トラックマークを削除したいファイルを選んでから操作してください。

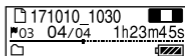
ファイルを分割する

選んでいる位置やトラックマーク位置でファイルを分割できます。

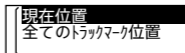
編集画面(本体側)



- 1 分割したいファイルを選び、位置を指定する場合は、分割したい位置で再生を停止する。
トラックマーク位置で分割する場合は、分割したいファイルを選ぶ。



- 2 OPTIONボタンを押し、「分割」→「現在位置」または「全てのトラックマーク位置」を選ぶ。



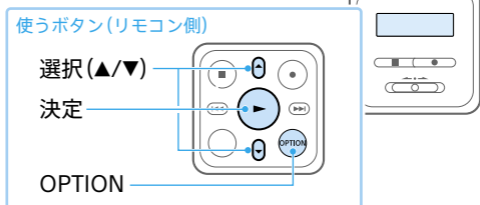
- 3 確認画面で「はい」を選ぶ。
分割されたファイルは、末尾に「_01」、「_02」というように連番が振られます。

- ・ 保護設定されているファイルは、分割できません。保護設定を解除してから操作してください(66 ページ)。
- ・ ファイルの先頭や終端から近い位置にあるトラックマークは、分割されずにファイルに残る場合があります。

フォルダ内のファイルを整理する (ファイル移動/ファイルコピー)

選んだファイルをお好みのフォルダに移動またはコピーできます。

編集画面(本体側)



- 1 再生停止中にOPTIONボタンを押し「ファイル移動」または「ファイルコピー」を選ぶ。

ファイル移動
ファイルコピー
ファイル名変更

- 2 移動先またはコピー先のフォルダを選び、選択する。

FOLDER01
会議01

「お待ちください」と表示され、移動先/コピー先フォルダにファイルを移動/コピーします。

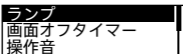
編集する


- ・「♪ミュージック」内のファイルは、移動またはコピーできません。
- ・保護設定されているファイルは、移動できません。保護設定を解除してから操作してください(66 ページ)。
- ・移動すると、もとのフォルダからそのファイルはなくなります。
- ・コピーすると、ファイルは同じファイル名でコピーされます。

各種設定を変更する

動作表示ランプの点灯・消灯を設定する(ランプ)

「オン」に設定すると動作中に本体の動作表示ランプとBluetoothランプが点灯・点滅します。

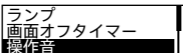



リモコンを操作して、ホームメニューで「 各種設定」→「共通設定」→「ランプ」→「オン」または「オフ」を選ぶ。

画面が自動的に消えるまでの時間を設定する (画面オフタイマー)

あらかじめ指定した時間が経過すると、自動的に画面が消えます(15 ページ)。

操作音の設定をする(操作音)




リモコンを操作して、ホームメニューで「 各種設定」→「共通設定」→「操作音」→「オン」または「オフ」を選ぶ。

操作音は、本体にヘッドホンを接続して使用するときのみ聞こえます。

日付や時刻を合わせる(日付時刻設定)


日付時刻設定 時刻表示形式

- ① リモコンを操作して、ホームメニューで「 各種設定」→「共通設定」→「時計設定」→「日付時刻設定」を選ぶ。
- ② ▲または▼ボタンを押して年の数字(西暦)を選び、▶ボタンを押す。
- ③ 同じ手順で、月、日、時、分の順に設定する。
BACK/HOMEボタンを押すと、カーソルが1つ前の項目に戻ります。
「分」の数字を選んで▶ボタンを押すと、設定が時計に反映されます。

時刻表示の形式を選ぶ(時刻表示形式)

24時間表示と12時間表示を切り替えます。


日付時刻設定 時刻表示形式

リモコンを操作して、ホームメニューで「 各種設定」→「共通設定」→「時計設定」→「時刻表示形式」→「12時間」または「24時間」を選ぶ。

スリープタイマーを使う(スリープタイマー)

設定した時間が経過すると自動的に本体の電源が切れます。

スリープタイマー
オートパワーオフ
各種初期化

リモコンを操作して、ホームメニューで「各種設定」→「共通設定」→「スリープタイマー」→お好みの時間を選ぶ。

- ・ オートパワーオフ機能(15 ページ)が設定されているときは、スリープタイマーの設定時間の前に電源が切れることがあります。
- ・ 録音中や録音開始タイマー(43 ページ)を設定中でも、スリープタイマーの設定時間が経過すると電源が切れます。


本体の電源が自動的に切れるまでの時間を設定する(オートパワーオフ)

あらかじめ指定した時間が経過すると、自動的に本体の電源が切れます(15 ページ)。

メニューの設定をお買い上げ時の状態に戻す(設定初期化)

メニューの設定をお買い上げ時の状態に戻すことができます。

設定初期化
メモリー初期化


- ① 録音停止中または再生停止中にリモコンを操作して、ホームメニューで「各種設定」→「共通設定」→「各種初期化」→「設定初期化」を選ぶ。
- ② 確認画面で「はい」を選ぶ。

「時計設定」については初期化されません。

データを初期化する(メモリー初期化)

内蔵メモリー内すべてのデータを削除し、フォルダ構成を初期状態に戻します。

設定初期化
メモリー初期化


- ① 録音停止中または再生停止中にリモコンを操作して、ホームメニューで「 各種設定」→「共通設定」→「各種初期化」→「メモリー初期化」を選ぶ。
- ② 確認画面で「はい」を選ぶ。

- ・ 内蔵メモリーを初期化すると、保存されていたすべてのデータが削除されます。(保護したファイルやSound Organizer 2も削除されます。) 一度削除した内容はもとに戻すことはできません。ご注意ください。
- ・ Sound Organizer 2は、ICレコーダー サポート ・ お問い合わせ ページからダウンロードできます。詳しくは、「Sound Organizer 2を使う」(別冊)をご覧ください。

録音可能時間を確認する(録音可能時間)

録音可能な残り時間を表示します。

各種初期化
録音可能時間
本体情報


リモコンを操作して、ホームメニューで「 各種設定」→「共通設定」→「録音可能時間」を選ぶ。

編集する

本体情報を確認する(本体情報)

本体の型名、本体のソフトウェアのバージョンを表示します。

各種初期化
録音可能時間
本体情報

リモコンを操作して、ホームメニューで「 各種設定」→「共通設定」→「本体情報」を選ぶ。

パソコンを活用する

ICレコーダーとパソコンを接続すると、以下のような便利な機能が使えます。

パソコンに必要なシステム構成については、79ページ、またはヘルプガイド(88ページ)をご覧ください。

Sound Organizer 2でファイルを管理・編集する (「Sound Organizer 2を使う」(別冊))

ソフトウェアSound Organizer 2を使って、ICレコーダーで録音したファイルをパソコンに取り込んで管理・編集したり、パソコンに保存されている音楽ファイルをICレコーダーに転送したりできます。

本機種は、Sound Organizer (Ver1.6) と接続することはできません。

Sound Organizer (Ver1.6) をお使いの方も、必ずSound Organizer 2をインストールしてお使いください。

USBメモリーとして利用する

パソコンに保存されている画像やテキストファイルなどを一時的に保存できます。

必要なシステム構成

パソコンと接続する場合や、USBメモリーとして使う場合に
必要なシステム構成は以下の通りです。

Sound Organizer 2をお使いの場合は、「Sound Organizer 2
を使う」(別冊)またはヘルプガイド(88 ページ)をご覧ください。

OS

- Windows 10 / Windows 8.1 /
Windows 7(Service Pack1以降)
- macOS (v10.9 ~ v10.13)

■ ご注意

- ・ 上記のOSがパソコン工場出荷時にインストールされている必要が
あります。アップグレードした場合や、マルチブート環境の場合は、
動作保証いたしません。
- ・ 最新の対応OSについては、110ページに記載のICレコーダー サ
ポート・お問い合わせページをご覧ください。

以下の性能を満たしたWindowsコンピューターまたは Mac

- USBポート
- ディスクドライブ：音楽CDを作成する場合はCD-R/RWド
ライブが必要です。

■ ご注意

推奨環境すべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。また、自作パソコンなどへお客様自身がインストールしたもの
や、アップグレードしたもの、マルチブート環境、マルチモニター環境で
の動作保証はいたしません。

困ったときは

修理を依頼される前に、もう一度下記項目をチェックしてみてください。

「症状から調べる」(81ページ)の各項目で調べる。

パソコンを利用できる場合

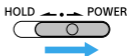
- ヘルプガイドで調べる(88ページ)
- ICレコーダー「サポート・お問い合わせ」のホームページで調べる(110ページ)
- Sound Organizer 2のヘルプで調べる
(「Sound Organizer 2を使う」(別冊))

下記を行うことで、問題が解決することがあります。

本体

- 充電する(10ページ)
- リスタート(再起動)する

本体のHOLD・POWERスイッチを「POWER」の方向へスライドさせたままの状態ですら8秒間維持します。画面が消えたら指を離してください。リスタートが行われます。動作中にリスタートすると、ICレコーダーに保存しているデータや設定が削除される場合がありますので、動作表示ランプが消灯していることを確認してから操作してください。



リモコン

- リセットする(22ページ)
- 電池を交換する(21ページ)

上記を確認しても問題が解決しないときは、ソニーの相談窓口(111ページ)またはお買い上げ店に相談する。修理に出すと、録音した内容が消えることがあります。ご了承ください。

症状から調べる

ノイズ

ノイズが多く聞き取りにくい。

- ・ 音声以外の周囲音が録音されてしまうことがあります。再生時に、クリアボイス機能を「クリアボイス1」または「クリアボイス2」に設定すると、プロジェクターや空調などの音声以外の周辺ノイズをカットします(52ページ)。全帯域のノイズを低減するため、人の声をクリアな音質で再生できます。ただし、「♪ミュージック」内のファイル再生時は、クリアボイス機能は働きません。

ノイズを少なく録音したい。

- ・ 録音フィルター機能の「NCF (Noise Cut)」または、「LCF (Low Cut)」を選択すると、ノイズを軽減した録音ができます(42ページ)。また、シーンセレクト機能を使うと、さまざまな録音シーンに合わせて、録音モードやマイク感度などの録音に必要な項目を、一括でおすすめの設定に切り替えることができます(37ページ)。

録音

カサカサという音が録音されている。

- ・ 録音したとき、本体に手などがあたったり、衣服とこすれたりすると雑音が録音されることがあります。録音が終わるまでは、なるべく本体に触れないようにしてください。

ジリジリという音が録音されている。

- ・ 録音中や再生中に本体を電灯線、蛍光灯、携帯電話などに近づけすぎると、ノイズが入ることがあります。本体を離して録音してください。

録音が途中で止まる。

- ・ VORが作動しています。VORを使用しないときは、メニューで「オフ」にしてください(43ページ)。

電源(本体)

本体の電源が入らない、または本体の操作ボタンを押しても動作しない。

- ・ 本体の内蔵充電式電池が消耗しています。内蔵充電式電池を充電してください。
- ・ 本体の電源がオフになっています。画面が表示されるまで、HOLD・POWERスイッチを「POWER」の方向へスライドさせると、電源が入ります(12ページ)。
- ・ 本体のホールドがオンになっています。HOLD・POWERスイッチを中央位置にスライドさせてください(16ページ)。

本体の電源が自動的に切れる。

- ・ 停止状態で操作をしないまま放置していると、オートパワーオフ機能が働きます。(お買い上げ時の設定は30分になっています。)メニューでオートパワーオフの設定を変更すると、電源オフまでの時間を変更できます(15ページ)。
- ・ スリープタイマーで設定された時間が経過すると自動的に電源が切れます(76ページ)。(お買い上げ時は、設定は「オフ」になっています。)

本体の電池の持続時間が短い。

- ・ 94ページの電池の持続時間は、使用条件によって短くなる場合があります。
- ・ 使用しない場合でも、わずかですが電池を消耗します。長い間お使いにならない場合は、本体の電源を切る(12ページ)ことをおすすめします。また、オートパワーオフの設定時間(15ページ)を短くしておく、切り忘れでの電池の消耗を抑えることができます。
- ・ 本体をREC Remoteに接続しない場合は、「Bluetoothオン/オフ」を「オフ」にしてください。
- ・ 本体の充電を開始すると、短時間で電池残量表示が点灯しますがフル充電になっていません。電池残量がない状態からフル充電までは約1時間かかります。
- ・ 本体を長い間使用していなかった場合は、何回か充電、放電(本体を動作させる)を繰り返してください。
- ・ 5℃以下の環境で使用しています。電池の特性によるもので故障ではありません。

- ・内蔵充電式電池が劣化しています。
充電式電池は、お使いの環境にもよりますが約500回の充電が可能です。十分に充電した状態でも、使用できる時間が通常の半分ほどになったときは電池が劣化しています。ソニーの相談窓口(111ページ)にお問い合わせください。

充電

パソコンで本体を充電できない。

- ・起動していないパソコンに接続しても充電できません。また、パソコンが起動していても、休止状態(スタンバイ、スリープ)のときは充電できません。
- ・パソコンから本体を取り外し、再度接続してください。
- ・周囲温度が5℃～35℃の環境で充電してください。
- ・市販のUSBハブ、またはUSB延長ケーブルをお使いの場合は、付属のUSBケーブルを使って本体を直接接続してください。

リモコン

リモコンの電源が入らない、またはリモコンの操作ボタンを押しても動作しない。








- ・以下をお試しください。リモコンの操作方法については、「リモコンを使う」(18ページ)をご覧ください。
 - リモコンのHOLDを解除する
 - リモコンのRESETボタンを押す
 - リモコンの電池の+の向きが正しいか確認する(21ページ)
 - リモコンの電池を交換する
 - 本体の電源が入っていることを確認する
 - 本体をリスタート(再起動)する
 - 本体にリモコンを登録する
- ・2.4GHz帯の周波数を使用する無線、無線LAN、他のBluetooth機器または電子レンジなど、電磁波を発生する機器は無線接続に障害を起す場合があります。
本体及びリモコンの間から障害物を避ける、または取り除いてください。
- ・本体とリモコンの距離が離れすぎています。本体とリモコンの距離が遠いと、無線接続ができなかったり途切れたりすることがあります。本体とリモコンをなるべく離さずにご使用ください。

リモコンの電池の持続時間が短い。

- ・ 94ページの電池の持続時間は、使用条件によって短くなる場合があります。
- ・ 5℃以下の環境で使用しています。電池の特性によるもので故障ではありません。

リモコンの動作表示ランプが点滅してリモコンの操作ボタンを押しても動作しない

- ・ リモコンの動作表示ランプは、リモコンの状態により、以下のよう

動作表示ランプの表示	リモコンの状態
青*で2回点滅 	電源オン
青*で2秒点灯 	電源オフ
青*で4回点滅 	リモコンリセット完了
赤で点灯し続ける 	電池残量がないため操作できません。
青と赤で交互に点滅 	リモコン登録中
青*で2回点滅を繰り返す 	接続処理中
青*で1回点滅 	ボタン操作(接続後)

* リモコンの電池残量が少なくなると、ランプの色が赤に変わります。ランプが点滅、点灯している間は操作できません。ランプが赤く点灯している場合は電池を交換してください。また、ランプが点滅している場合は、消灯するまでお待ちください。ランプの点滅が終わらない場合は、「リモコンの電源が入らない、またはリモコンの操作ボタンを押しても動作しない」(83ページ)をお試しください。

再生

再生音量が小さい。

- ・ 録音されている音量が小さい場合があります。録音時に、マイク感度の設定や、「シーンセレクト」で用途に合わせた録音シーンを選んでいるかを確認してください(37ページ)。

再生スピードが速すぎたり遅すぎたりする。

- ・ DPC(速度調節)の設定が「オン」になっているため、調節した再生スピードで再生されています。DPC(速度調節)の設定を「オフ」にすると、通常で再生されます。または、DPC(速度調節)の設定で再生スピードを調節してください(53ページ)。

編集

ファイルを分割できない。

- ・ メモリーに一定の空き容量がありません。
- ・ システムの制約により、ファイルのはじめと終わりでファイル分割できないことがあります。
- ・ ICレコーダーで録音されたファイル以外(パソコンから転送したファイル)は、分割できません。

作成したフォルダやファイルが見えない。

- ・ パソコン上でフォルダやファイルを作成した場合、作成した場所によっては、ICレコーダーで認識できない場合があります。詳しくは51ページをご覧ください。

表示

録音日時表示が「----/--/--」または「--:--」になる。

- ・ ICD-TX800以外の機種で録音したファイルは、録音日時の記録方法が異なるため、録音日時が表示されない場合があります。

ファイル

「メモリーが一杯です」のメッセージが表示され、録音できない。

- ・メモリーがいっぱいになっています。不要なファイルを削除する(64ページ)か、パソコンに保存してから、ファイルを削除してください。

「ファイルが一杯です」のメッセージが表示され、操作できない。

- ・内蔵メモリーのフォルダとファイルの総数が5,000件を超えた場合、録音やファイルコピーはできません。不要なファイルを削除するか、パソコンに保存してから、ファイルを削除してください。

パソコン

パソコンで認識しない。

パソコンからフォルダ、ファイルが転送できない。

- ・パソコンから本体を取り外し、再度接続してください。
- ・市販のUSBハブ、またはUSB延長ケーブルをお使いの場合は、付属のUSBケーブルを使用して接続してください。
- ・ICレコーダーが対応しているシステム構成(79ページ)以外では、動作保証はいたしかねます。
- ・お使いのパソコンのUSBポートの位置によっては、認識できないことがあります。別のUSBポートに接続してください。

REC Remote

ICレコーダーを登録できない(ペアリングできない)。

- ・本体とスマートフォンの距離が離れています。Bluetooth接続ができる距離(1 m以内)で登録(ペアリング)を行ってください。

Bluetooth接続ができない。

- ・電源が入っていません。本体および接続するスマートフォンの電源を入れ、Bluetooth機能が有効になっていることを確認してください。
- ・電池残量が少なくなっています、または電池残量がほとんどありません。本体を起動中のパソコンかACアダプター(別売)で充電してください。

- ・ 次のような場合は、機器登録 (ペアリング) の情報が消えます。再度ペアリングしてください。
 - どちらかの機器、または両方の機器を、設定初期化などでお買い上げ時の状態に戻してしまった場合
 - 修理を行ったなど、機器登録 (ペアリング) の情報が削除されてしまった場合
- ・ 本体とスマートフォンの距離が離れすぎています。本体とスマートフォンの距離が遠いと、Bluetooth接続ができなかったり途切れたりすることがあります。本体とスマートフォンをなるべく離さないでご使用ください。

サポートページ／ヘルプガイドについて

サポートホームページで調べる

パソコンをインターネットに接続できる環境の場合、ICレコーダー「サポート・お問い合わせ」のホームページ (<https://www.sony.jp/support/ic-recorder/>) でトラブルの解決方法や最新情報などを調べることができます。

サポートホームページでは、以下の情報などを見ることができます。

- Q&A (よくある問い合わせ情報)
- ソフトウェアアップデートなどの最新情報
- 製品別サポート情報
- Sound Organizer 2のソフトウェアの使いかた
- 重要なお知らせ(サポートからの重要なお知らせ)
- 製品登録(製品登録へのご案内)
- Sound Organizer 2やヘルプガイドのダウンロードサービス

ヘルプガイドで調べる

ヘルプガイドは、ヘルプガイドページ (<http://rd1.sony.net/help/icd/t80/ja/>) で見ることができます。



保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ

ソニーの相談窓口(111ページ)、お買い上げ店、またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではICレコーダーの補修・性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後6年間保有しています。ただし、故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

その他

主な仕様

本体の仕様

容量*1*2 (ユーザー使用可能領域)	16 GB (約12.80 GB = 13,743,895,347 Byte)
最大録音ファイル数 (1フォルダ内)	199ファイル
最大ファイル数	5,000ファイル (フォルダ数を含む)
周波数範囲	<ul style="list-style-type: none">• LPCM 44.1 kHz/16 bit: 95 Hz ~ 20,000 Hz• MP3 192 kbps: 95 Hz ~ 20,000 Hz• MP3 128 kbps: 95 Hz ~ 16,000 Hz• MP3 48 kbps (MONO): 95 Hz ~ 14,000 Hz
対応ファイルフォーマット	MP3 *3*4 <ul style="list-style-type: none">• ビットレート: 32 kbps ~ 320 kbps、可変ビットレート (VBR) 対応• サンプリング周波数: 16/22.05/24/32/44.1/48 kHz• 拡張子: .mp3
	WMA *3*5 <ul style="list-style-type: none">• ビットレート: 32 kbps ~ 192 kbps、可変ビットレート (VBR) 対応• サンプリング周波数: 44.1 kHz• 拡張子: .wma
	AAC-LC*3*6 <ul style="list-style-type: none">• ビットレート: 16 kbps ~ 320 kbps、可変ビットレート (VBR) 対応• サンプリング周波数: 11.025/12/16/22.05/24/32/44.1/48 kHz• 拡張子: .m4a

対応ファイルフォーマット	LPCM* ³ <ul style="list-style-type: none"> 量子化ビット数: 16 ビット サンプリング周波数: 44.1 kHz 拡張子: .wav
Bluetooth仕様	通信方式: Bluetooth標準規格 Ver 4.0 <ul style="list-style-type: none"> 使用周波数帯域: 2.4 GHz帯(2.4000 GHz ~ 2.4835 GHz) 変調方式: FHSS 対応Bluetoothプロファイル*⁷: SPP
入・出力端子	<ul style="list-style-type: none"> ヘッドホン(USB micro-B端子) 推奨負荷インピーダンス: 16 Ω USB端子(USB micro-B端子) High-Speed USB対応
再生スピード調節(DPC)	3.00倍速 ~ 0.25倍速: MP3/WMA/AAC-LC/LPCM
電源	DC 3.7 V、内蔵リチウムイオン充電式電池
動作温度	5 °C ~ 35 °C
最大外形寸法(最大突起部含まず)	約38.0 mm × 38.0 mm × 13.7 mm (幅/高さ/奥行き)
質量	約22 g
付属品	6ページ参照
別売アクセサリ	<ul style="list-style-type: none"> USB ACアダプター AC-UD20 USB ポータブル電源 最新の対応機器は http://www.sony.jp/battery/search/ をご覧ください。

*¹ メモリー容量の一部をデータ管理領域として使用しています。

*² ICレコーダーで内蔵メモリーを初期化した場合

*³ すべてのエンコーダーに対応しているわけではありません。

*⁴ これに加えてICレコーダーの各録音モードで録音したMP3ファイルの再生にも対応しています。

*⁵ WMA Ver.9には準拠していますが、MBR(Multi Bit Rate)、Lossless、Professional、Voiceには対応していません。

*⁶ 著作権保護されたファイルは再生できません。

*⁷ Bluetoothプロファイルとは、Bluetooth機器の特性ごとに機能を標準化したものです。

リモコンの仕様

Bluetooth仕様	通信方式：Bluetooth標準規格 Ver 4.0 • 使用周波数帯域：2.4 GHz帯 (2.4000 GHz ~ 2.4835 GHz) • 対応Bluetoothプロファイル* ¹ ： BLE(HOGP)
電源	DC 3 V、CR2032 ボタン型リチウム電池* ²
電池持続時間	約1年* ³
動作温度	5 °C ~ 35 °C
最大外形寸法 (最大突起部含まず)	約38.0 mm×38.0 mm×10.8 mm (幅／高さ／奥行き)
質量	約15g (ボタン型リチウム電池含む)

*¹ Bluetoothプロファイルとは、Bluetooth機器の特性ごとに機能を標準化したものです。

*² お買い求め時にあらかじめ取り付けられている電池はモニター用電池のため、電池持続時間を満たさない場合があります。

*³ 使用状況や周囲温度などの要因によっても変わります。あくまでも目安としてください。

ICレコーダーの仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

最大録音時間

録音モード、録音シーンの設定別で、最大録音時間*1*2を記載しています。

最大録音時間は、全フォルダ合わせて表のとおりです。

録音モード (録音シーン*3)	内蔵メモリー
LPCM 44.1kHz/16bit	21時間35分
MP3 192kbps ( /  /  / )	159時間
MP3 128kbps ( *4 /  *5)	238時間
MP3 48kbps (MONO)	636時間

*1 連続録音の場合は、別売りのUSB ACアダプターが必要になります。
詳しくは電池の持続時間(94 ページ)をご確認ください。

*2 表記の最大録音時間は目安です。

*3 お買い上げ時の設定です。

*4 録音画面では、が表示されます。

*5 録音画面では、/ が表示されます。

音楽ファイル最大再生時間／ファイル数*

ビットレート	再生時間	曲数
128 kbps	238時間	3570ファイル
256 kbps	119時間	1785ファイル

* パソコンにある1ファイル4分のMP3ファイルを転送して再生する場合

電池の持続時間

本体の内蔵充電式電池の持続時間*

録音モード	録音時	ヘッドホン再生時	REC Remote録音時
LPCM 44.1 kHz/16 bit	約12時間	約10時間	約6時間
MP3 192 kbps	約15時間	約12時間	約6時間
MP3 128 kbps	約15時間	約12時間	約6時間
MP3 48 kbps (MONO)	約15時間	約12時間	約6時間
音楽ファイル (MP3 128kbps)	—	約12時間	—

* 当社規定による測定値です。使用条件によって短くなる場合があります。

本体の充電時間：

電池残量がない状態からフル充電までは約1時間かかります。

リモコンの電池持続時間*

約1年

* 使用状況や周囲温度などの要因によっても変わります。あくまでも目安としてください。

使用上のご注意

無線の周波数について

本製品が使用している周波数は、他の無線機器でも使用していることがあります。
他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

2.4 GHz機器使用上の注意事項

本製品の使用周波数は2.4 GHz帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局等(以下「他の無線局」と略す)が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本製品の使用場所を変えるか、または本製品の運用を停止(電波の発射を停止)してください。
3. 不明な点その他お困りのことが起きたときは、ソニーの相談窓口までお問い合わせください。

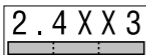
本体

この無線製品は2.4 GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式およびその他の変調方式を採用し、与干渉距離は30 mです。

2.4FH/XX3

リモコン

この無線製品は2.4 GHz帯を使用します。変調方式としてその他の変調方式を採用し、与干渉距離は30 mです。



Bluetooth接続のご注意

- Bluetooth無線技術では約10mまでの距離で接続できますが、障害物(人体、金属、壁など)や電波状態によって接続有効範囲は変動します。
- Bluetooth機器と無線LAN (IEEE802.11b/g) は同一周波数帯(2.4 GHz)を使用するため、無線LANを搭載した機器の近辺で使用すると、電波干渉が発生し、接続速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、次の対策を行ってください。
 - ICレコーダーとBluetooth機器を接続するときは、無線LANを搭載した機器から10m以上離れたところで行う。
 - ICレコーダーとBluetooth機器をできるだけ近づける。
 - 無線LANを搭載した機器から10m以内で使用する場合は、無線LANの電源を切る。
- Bluetooth機器が発生する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故が発生させる原因になりますので、次の場所ではICレコーダーとBluetooth機器の電源を切ってください。
 - 病院内/電車内の優先席付近/航空機内/ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所や、自動ドアや火災報知機の近く

使用場所について

- 運転中の使用は危険ですのでおやめください。
- 飛行機内で使用する際は、離着陸時など、機内のアナウンスに従ってご使用をお控えください。

取り扱いについて

- 落としたり、重いものを乗せたり、強いショックを与えたり、圧力をかけないでください。ICレコーダーの故障の原因となります。
- ICレコーダーをお使いになるときは、キャビネットの変形や故障を防ぐために、次のことを必ずお守りください。
 - － ICレコーダーをズボンなどの後ろのポケットに入れて座らない。
 - － ICレコーダーにヘッドホンを巻き付けたまま、かばんの中に入れ、外から大きな力を加えない。
- 次のような場所には置かないでください。
 - － 温度が非常に高いところ (60°C以上)。
 - － 直射日光のあたる場所や暖房器具の近く。
 - － 窓を閉めきった自動車内 (特に夏季)。
 - － 風呂場など湿気の多いところ。
 - － ほこりの多いところ。
- 水がかからないようご注意ください。ICレコーダーは防水仕様ではありません。特に以下の場合、ご注意ください。
 - － 洗面所などでICレコーダーをポケットに入れての使用。身体をかがめたときなどに、落として水ぬれの原因になる場合があります。
 - － 雨や雪、湿度の多い場所での使用。
 - － 汗をかく状況での使用。
ぬれた手で触ったり、汗をかいた衣服のポケットにICレコーダーを入れると、水ぬれの原因になることがあります。
- 空気が乾燥する時期にヘッドホンを使用すると、耳にピリピリと痛みを感じるがありますが、ヘッドホンの故障ではなく、人体に蓄積された静電気によるものです。静電気の発生しにくい天然素材の衣服を身に着けていただくことにより、軽減されます。

万一故障した場合は、内部を開けずにお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

ご使用について

- ヘッドホンをご使用中、肌に合わないと感じたときは早めに使用を中止して医師またはソニーの相談窓口(111 ページ)に相談してください。
- ヘッドホンを付けたまま寝ないでください。

ノイズについて

- 録音中や再生中に本体を電灯線、蛍光灯、携帯電話などに近づけすぎると、ノイズが入ることがあります。
- 録音中に本体に手などが当たったり、こすったりすると、雑音が録音されることがあります。

お手入れ

本体表面が汚れたときは、水気を含ませた柔らかい布で軽くふいたあと、からぶきします。シンナーやベンジン、アルコール類は表面の仕上げを傷めますので使わないでください。

バックアップのおすすめ

万一の誤消去や、ICレコーダーの故障などによるデータの消滅や破損にそなえ、大切な録音内容は、必ず予備として、パソコンなどに保存してください。

ICレコーダーを廃棄するときのご注意

廃棄するときは、内蔵メモリーの初期化(77 ページ)を行い、すべてのデータを削除してください。



Li-ion

機器に内蔵されている充電式電池はリサイクルできます。

この充電式電池の取り外しはお客様自身では行わず、「ソニーの相談窓口」にご相談ください。(「ソニーの相談窓口」の連絡先は111ページに記載されています。)



下記の注意事項を守らないと火災・感電により死亡や大けがの原因となります。

火の中に入れてない



禁止

内部を開けない

感電の原因となることがあります。内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。



分解禁止

運転中は使用しない

- 自動車、オートバイなどの運転をしながらヘッドホンなどを使用したり、細かい操作をしたり、表示画面を見ることは絶対におやめください。交通事故の原因となります。
- また、歩きながら使用するときも、事故を防ぐため、周囲の交通や路面状況に充分ご注意ください。



禁止

内部に水や異物を落とさない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。



禁止

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や、直射日光のあたる場所には置かない

火災や感電の原因となることがあります。とくに風呂場では絶対に使用しないでください。



禁止

その他

周囲の音が聞こえないと危険な場所では使用しない
踏切りや駅のホーム、車の通る道、工事現場などでは、周囲の音が聞こえないと危険です。
そのような場所では使用しないでください。事故やけがの原因となります。



禁止



下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

大音量で長時間つづけて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。とくにヘッドホンで聞くとときにご注意ください。呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。



禁止

はじめからボリュームを上げすぎない

突然大きな音がでて耳を痛めることがあります。



禁止

本製品を航空機内で使用する場合は、客室乗務員の指示に従う。

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。



指示

本製品を医療機器の近くで使用しない。

電波が心臓ペースメーカーや医療用電気機器に影響を与えるおそれがあります。

満員電車などの混雑した場所や医療機関の屋内では使用しないでください。



禁止

本製品を心臓ペースメーカーの装着部位から22cm以上離す。

電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。



注意

本製品を自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くでは使用しない。

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。



禁止

本製品は、国内専用です。

海外では国によって電波使用制限があるため、本製品を使用した場合、罰せられることがあります。



指示

- 本製品の不具合により、録音や再生ができなかった場合、および録音内容が破損または消去された場合など、いかなる場合においても録音内容の補償についてはご容赦ください。
また、いかなる場合においても、当社にて録音内容の修復、復元、複製などはいたしません。
- 本製品を使用したことによって生じた金銭上の損害、逸失利益および第三者からのいかなる請求につきましても、当社は一切その責任を負いかねます。
- 録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前にためし録りをしてください。
- お客様が録音したものは個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 本機で録音された音声ファイルには、著作権保護技術は使用されていません。

その他

電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱・発火・誤飲によるけがや失明を避けるため、以下の注意事項を必ずお守りください。

電池の種類については、電池本体上の表示をご確認ください。
種類によっては該当しない注意事項もあります。

充電式電池

ニカド (Ni-Cd)

ニッケル水素 (Ni-MH)

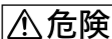
リチウムイオン (Li-ion)

乾電池

アルカリ、マンガン

電池を火のそばや直射日光のあたるところなど、高温の場所で使用、保管、放置しないでください。

破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。



危険

充電式電池、乾電池が液漏れしたとき

- 充電式電池、乾電池の液が漏れたときは素手で液をさわらない。
- 液が本体内部に残ることがあるため、ソニーの相談窓口(111 ページ) またはソニーサービス窓口にご相談する。
- 液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるため、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師に相談する。
- 液が身体や衣服についたときは、やけどやけがの原因になるため、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談する。

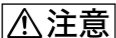
危険 充電式電池について

- 機器の表示に合わせて+と-を正しく入れる。
- 取扱説明書に記載された充電方法以外で充電しない。
- バッテリーキャリングケースが付属されている場合は、必ずキャリングケースに入れて携帯、保管する。
- 火の中に入れてない。
- ショートさせたり、分解、加熱しない。
- コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。
- 火のそばや直射日光のあたるところ、炎天下の車中など、高温の場所で使用、保管、放置しない。
- 水などでぬらさない。風呂場などの湿気の多いところで使わない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり、傷つけない。
- 指定された種類の充電式電池以外は使用しない。
- 長時間使用しないときや、長時間USB ACアダプターで使用するときは取りはずす。
- 液漏れした電池は使わない。
- 種類の違う電池を混ぜて使わない。

警告 乾電池、ボタン型リチウム電池について

- 小さい電池は飲み込むおそれがあるので、乳幼児の手の届かないところに保管する。電池を飲み込んだときは、窒息や胃などへの障害の原因になるので、ただちに医師に相談してください。
- 機器の表示に合わせて+と-を正しく入れる。
- 充電しない。
- 火の中に入れてない。
- ショートさせたり、分解したり、加熱したりしない。
- コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。
- 使い切った電池は取りはずす。
- 新しい電池と使用した電池、種類の異なる電池を混ぜて使わない。
- 液漏れした電池は使わない。

その他



注意

乾電池、ボタン型リチウム電池について

- 火のそばや直射日光の当たるところ、炎天下の車中など、高温の場所で使用、保管、放置しない。
- 水などでぬらさない。風呂場などの湿気の多いところで使わない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり、傷つけない。
- 指定された種類の電池以外は使用しない。

著作権と商標について

著作権について

- 権利者の許諾を得ることなく、このマニュアルの全部または一部を複製、転用、送信等を行うことは、著作権法上禁止されております。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上権利者に無断で使用できません。
著作権の対象になっている画像やデータの記録されたメディアは、著作権法の規定による範囲内で使用する以外はご利用いただけませんので、ご注意ください。

モジュールについて

Sound Organizer 2は、以下のソフトウェアモジュールを使用しています。

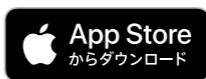
Windows Media Format Runtime

商標について

- Microsoft、Windows、Windows Mediaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Google Play及びAndroidはGoogle LLCの商標です。
- Apple、Appleロゴ、iPhone、macOS、iOSおよびMacは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。「iPhone」の商標は、アイホン株式会社からライセンスを受け使用しています。
App StoreはApple Inc.のサービスマークです。
- 「Made for Apple」バッジは、アクセサリが本バッジに記載されたアップル製品専用接続するように設計され、アップルが定める性能基準を満たしていることを示します。アップルは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。

- iPhone対応モデル

iPhone 7、iPhone 7 Plus、iPhone SE、iPhone 6s、
iPhone 6s Plus、iPhone 6、iPhone 6 Plus、iPhone 5s、
iPhone 5c、iPhone 5



- BLUETOOTH®ワードマークとロゴは、Bluetooth SIG, Inc.の所有であり、ソニー株式会社はライセンスに基づきこのマークを使用しています。他のトレードマークおよびトレード名称については、個々の所有者に帰属するものとします。



その他、本書で登場するシステム名、製品名、サービス名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では®、™マークは明記していません。

ライセンスについて

- 本機は、Fraunhofer IISおよびThomsonのMPEG Layer-3オーディオコーディング技術特許に基づく許諾製品です。
- This product is protected by certain intellectual property rights of Microsoft Corporation. Use or distribution of such technology outside of this product is prohibited without a license from Microsoft or an authorized Microsoft subsidiary.

ライセンスに関する注意

本製品には、弊社がその著作権者とのライセンス契約に基づき使用しているソフトウェアが搭載されております。

当該ソフトウェアの著作権者様の要求に基づき、弊社はこれらの内容をお客様に通知する義務があります。

ライセンス内容(英文)に関しては、ICレコーダーの内蔵メモリー内に記録されています。ICレコーダーとパソコンをマスタストレージ接続し、「LICENSE」内にあるファイルをご一読ください。

GNU GPL/LGPL適用ソフトウェアに関するお知らせ

本製品には、以下のGNU General Public License (以下「GPL」とします)または、GNU Lesser General Public License (以下「LGPL」とします)の適用を受けるソフトウェアが含まれております。

お客様はGPL/LGPLの条件に従いこれらのソフトウェアのソースコードの入手、改変、再配布の権利があることをお知らせいたします。

ソースコードは、Webで提供しております。

ダウンロードするには、以下のURLにアクセスしてください。

<http://www.sony.net/Products/Linux/>

なお、ソースコードの中身についてのお問い合わせはご遠慮ください。

ライセンス内容(英文)に関しては、ICレコーダーの内蔵メモリー内に記録されています。ICレコーダーとパソコンをマスタストレージ接続し、「LICENSE」内にあるファイルをご一読ください。

索引

数字、アルファベット順

1ファイル削除	65
AAC-LC	90
A-Bリピート	55
Bluetooth機能	61
DPC (Digital Pitch Control)	53
LCF (Low Cut)	42
LPCM	91
MP3	90
NCF (Noise Cut)	42
REC Remote	60
USB ACアダプター	11, 91
USBケーブル	6
VOR (Voice Operated Recording)	43
WMA	90

あ行

アフターサービス	89
イージーサーチ	54
イージーサーチ間隔設定	54
オートパワーオフ	15
お手入れ	98
オプションメニュー	28, 30
音量調節	47

か行

書き起こし用再生	55
各種設定	27, 29, 74
各部のなまえ	7
画面オフタイマー	15

キャリングケース	6, 9
キュー	54
クリアボイス	52
現在位置分割	71
現在のトラックマーク	69
困ったときは	80

さ行

再生する	46
再生モード	57
最大録音時間	93
削除	64
シーンセレクト	37, 39
時刻情報	44
時刻表示形式	75
システム構成	79
自動トラックマーク	44
充電	10
修理	89
仕様	90
使用上のご注意	95
ステレオヘッドホン	6, 46
全てのトラックマーク	69
全てのトラックマーク位置	71
スリープタイマー	76
設定初期化	76
専用ヘッドホン接続ケーブル	6, 46
操作音	14, 74

た行

電源を入れる	12
電池の持続時間	82, 94
電池マーク	11
電池を交換する	21
動作表示ランプ	74
時計設定	75
トラックマーク	68
トラックマーク一覧	56
トラックマーク削除	69
トラックマーク追加	68

な行

内蔵充電式電池	94
内蔵マイク	32
内蔵メモリー	77
長押しリピート	56
ノイズ	36, 81

は行

パソコンにつなぐ	10
パソコンを活用する	78
ファイル移動	73
ファイルコピー	73
ファイル削除	64
ファイル情報	58
ファイル名変更	67
フォルダ	35
フォルダ削除	65
フォルダ作成	35
フォルダ名変更	67
分割	71

編集	64, 85
ホームメニュー	26
ホールド	16
保護	66
保証書	89
本体情報	77

ま行

マイク感度設定	40
メニュー	26

ら行

リスタート	80
リモコン	18
レビュー	54
録音	32
録音開始タイマー	43
録音可能時間	77
録音先フォルダ	35
録音時間	93
録音情報	42
録音フィルター	42
録音モード	40

お問い合わせ窓口のご案内

本機についてご不明な点や技術的なご質問、故障と思われるときのご相談については、下記のお問い合わせ先をご利用ください。

- ホームページで調べるには
→ ICレコーダー サポート・お問い合わせへ
(<https://www.sony.jp/support/ic-recorder/>)

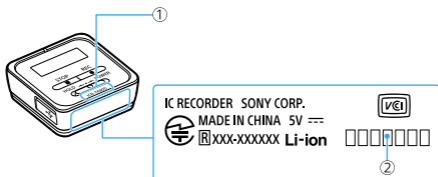
ICレコーダーに関する最新サポート情報や、よくあるお問い合わせとその回答をご案内するホームページです。

- 電話・FAXでのお問い合わせは
→ ソニーの相談窓口へ
(111ページに記載の電話・FAX番号)

本機の商品カテゴリーは[ICレコーダー]です。
お問い合わせの際は、次のことをお知らせください。

セット本体に関するご質問時：

- 型名 (①)：ICD-TX800
- シリアルナンバー (②)：本体側面に記載
- ご相談内容：できるだけ詳しく
- お買い上げ年月日



ソフトウェアに関連するご質問時：

質問の内容によっては、お客さまのシステム環境について質問させていただく場合があります。

上記内容に加えて、システム環境を事前に分かる範囲でご確認いただき、お知らせください。

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。

<https://www.sony.jp/support/>

使い方相談窓口	修理相談窓口
フリーダイヤル …………… 0120-333-020 携帯電話・PHS・一部のIP電話 …………… 050-3754-9577	フリーダイヤル …………… 0120-222-330 携帯電話・PHS・一部のIP電話 …………… 050-3754-9599 ※取扱説明書・リモコン等の購入相談は こちらへお問い合わせください。

FAX(共通) 0120-333-389



上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に
「**303**」+「**#**」を押してください。直接、担当窓口へおつながります。

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1



* 4 6 9 9 0 3 2 0 2 * (2)